

# くらしと営業の支援を

12月の定例市議会での党議員団の質問の一部を紹介します。

## 村口はじめ 議員

の代表質問より

### 救急医療体制の充実を



吹田でも、救急医療、特に夜間は患者の搬送先を探すのが困難になっています。市民病院に搬送されても1時間以上も待たされることもめずらしくありません。

こうした問題の解決のために救急医療体制の充実を求めました。

吹田市民病院	3,757
済生会千里病院(千里救命救急センターを含む)	2,521
済生会吹田病院	1,747
国立循環器病研究センター	842
大和病院	342
協和会病院(昼間だけ)	317
その他の市内病院	640
市外の病院	4,116
合計(人)	14,282

(昨年度救急搬送された患者の受入実績)

また千里救命救急センターに対する府補助金が今年度末で廃止されようとしており、センター存続が危ぶまれています。

補助金を廃止しないように積極的に働きかけることを求めました。

昨年度の救急搬送先実績(上の表)を見ると、市民病院と済生会千里病院(千里救命救急センターを含む)が果たしている役割の大きさがわかります。

### 「福祉」を理念だけにしない

「福祉の基本条例」の制定に関連して、就学援助制度や障害者福祉年金、重度障害者住宅改造成、障害者生活サポート事業など、後退させようとしている具体的施策について、後退させないように求めました。

また、重度障害者がくらすことができる施設をつくるようにとの請願が3年前に採択されているにもかかわらず置き去りにされたままです。

市に施設がなく、やむなく他市の施設に200人も入所している今の事態の改善を求めました。

### 契約のあり方の改善のために

工事や委託、物品購入で、ダンピング競争や下請けたたき、ワーキングプアなどの問題が深刻になっています。



こうした問題に対応するため、契約のあり方を改善する方策として、「公契約条例」の制定を求めました。「条例の制定も視野にいれ研究する」と市長答弁が二歩前進しました。

## 塩見みゆき 議員

の個人質問より

● 毎日放送跡地開発に関わっての質問

① 約13ヘクタールの広大な開発で、なぜ貴重な樹林を伐採して公園を整備されるのか。住民の意見をよく聞いて結論を急ぐべきではない。全体の緑地保全は事業者まかせにしないで専門家などの意見を聞きながら行うように。

② 旧ミリカプール沿いの急な坂道に安全な歩道の確保を求める。

● 千里丘地域に子どもたちがのびのびと遊べる公園、ボール遊びなどができる広場の整備を求める。



● 南正雀住宅地から正雀川河川敷へ渡る安全なスロープを早急に設置するよう求める。

## 竹村博之 議員

の個人質問より

### 犯罪防止について

ひったくり事件など江坂周辺の犯罪防止対策。

### 「市民アンケート」から



① ガンバスタジアム建設計画の進捗状況。  
② まちの駅について  
前議会で再考を求めた。「5億円もかけるより先にやることがあるのではないか」という声に答えよ。

③ 0系新幹線について  
約3800万円もかけて「市民には分かりにくい行動が多い」と非難されている。見直しをさせよ。

④ 西松建設裏献金問題について  
市長のパーティーで受けた金を未だに返却していないが、どういう結論を得るのか。

⑤ 地デジ化の対応について  
低所得者への地デジチューナー無償配布について周知を求める。

### 期日前投票所について

増設される千里南センターのバリアフリーの状況と駐車場対策。

### 市営住宅建替え事業について

「入居者意向調査中間集計」の結果、豊津住宅T2棟では新佐竹台住宅への住み替えを希望しているのは25%。意向を十分にくんで事業をすすめるよ。

## 玉井みき子 議員

の個人質問より

● 私立保育園・私立幼稚園への警備員配置の補助金の削減は再検討を。  
学校については府の補助がなくなっても市独自で警備員の配置を。



● JR吹田駅前にある、JOBカフェやJOBナビの一角に「マザーズハローワーク」のようなコーナーの設置と子育てしながら働ける職場を集めた求人を取り扱いを。

● 市民病院の夜間小児救急をインフルエンザなどが流行する期間だけでも対応を。来年度以降の休日昼間の小児科診療の継続を。

● 市営住宅建て替えにあたっての住民意向調査について。住んでいる所によって選択肢に差をつけるのはおかしい。計画をおしつけるのではなく住民の意向をよく聞くこと。また意向調査後の対応を住民まかせ、管理人まかせにしないで丁寧な対応を。